

鹿児島県感染症情報

2010年 第28週報 (7月12日~7月18日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>》

県内にヘルパンギーナの流行発生警報が発令中です。今週の報告数は減少していますが2007年に次ぐ大きな流行となっています。今後の動向に十分注意して予防対策に努めましょう。

★鹿児島県におけるヘルパンギーナの発生動向と予防対策

県内には引き続き流行発生警報が発令中です。今年の発生状況は、今のところ2007年に次ぐ大きな流行となっており、19週以降は9週連続で増加を認めていましたが、今週は、前週(298人)より56人少ない242人(定点当たり報告数4.40)に減少しました。今後の動向については、前週がピークとなり減少していくのか、再び増加傾向が認められるのか注意が必要です。ヘルパンギーナは、手足口病や咽頭結膜熱と同様に夏季に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎(いわゆる夏かぜ)です。症状は、突然の発熱に続き、口腔内に小水疱が出現し、それが破れて潰瘍を形成するため、喉の痛みを伴います。この痛みの影響から不機嫌、拒食、哺乳障害を認め、水分補給が充分でないと脱水症状を呈することもあります。ほとんどは経過も予後も良好ですが、まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎などを引き起こすこともあるので、早めに医療機関を受診しましょう。予防対策は、基本的な手洗い、うがいを習慣づけることが最も重要です。患者からは症状が落ち着いた後も1ヶ月近くウイルスが排出されることがあります。特に、介護の人(おむつの交換後等)はゴム手袋を着用し、意識して手洗いを心がけましょう。

腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の報告数が増加してきています。特に22週以降は、7週連続で報告されており、今後の動向には注意して予防対策に努めましょう。

★鹿児島県における腸管出血性大腸菌感染症の発生動向と予防対策

2010年における県内の腸管出血性大腸菌感染症は、今週の報告数(2例)を含めて、22例報告されています。特に、第22週以降は7週連続で報告され、6月は9例、7月は18日現在で6例の報告数となっています。今後の発生動向に注意して、予防対策に努めてください。予防対策としては、気温の上昇と共に細菌が繁殖しやすい環境が整うため、食品の温度管理に努め、こまめに手洗いすることが大切です。

上位3疾患以外の定点把握対象疾患では、例年と比較して、流行性耳下腺炎と伝染性紅斑の報告数が多くなっています。今後の動向に注意が必要です(p3を参照)。

☆一～五類感染症(全数報告疾病)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 15例(肺結核10例, リンパ節結核1例, 性器結核1例, 肺結核及び結核性胸膜炎2例, 無症状病原体保有者1例)
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2例, 血清型/毒素型:O157/VT1&VT2(1例), O103/VT1(1例)
四類感染症	発生報告なし
五類感染症	破傷風 1例, (追加) 第27週 急性脳炎 1例

☆定点報告疾病の発生状況

・第28週の定点把握対象疾病の総報告数は845人で、第27週より105人少なかった。また、定点当たりの報告数は、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の順に多かった(詳細については後述)。

・流行発生警報の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所

【ヘルパンギーナ(開始6.0, 終息2.0)】: 指宿(10.00), 鹿児島市(7.23), 加世田(6.33), 出水(6.33), 川薩(6.25), 鹿屋(3.60), 始良(2.71)

【手足口病(開始5.0, 終息2.0)】: 川薩(2.25), 出水(2.00), 【伝染性紅斑(開始2.0, 終息1.0)】: 指宿(4.50), 始良(2.57)

・流行発生注意報の基準値以上の保健所

【流行性耳下腺炎(開始3.0)】: 鹿児島市(3.77), 【水痘(開始4.0)】: 西之表(4.00)

※ (数値) は定点当たり報告数
※ アンダーラインは今週基準値以上の保健所

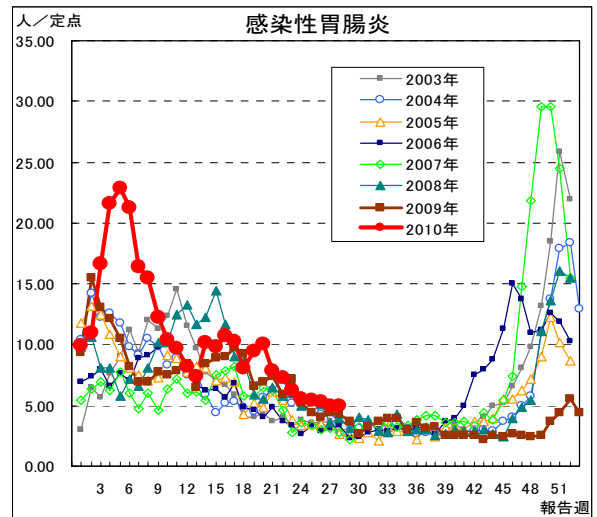
☆定点報告疾病（定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第28週の感染性胃腸炎の報告数は272人で、前週より3人少なく、定点当たりの報告数は4.95であった。報告数は、21週以降8週連続で減少しているが、減少幅は小さい状況が続いている。

年齢別では、1歳（42人）、10～14歳（39人）、4歳（28人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所と川薩保健所（それぞれ8.50）、志布志保健所（7.67）が多い。

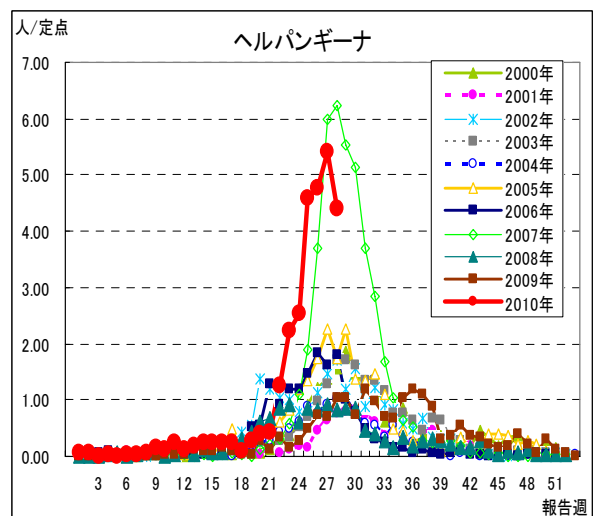


(2) ヘルパンギーナ

第28週のヘルパンギーナの報告数は242人で、前週より56人少なく、定点当たりの報告数は4.40であった。報告数は9週連続で増加していたが、今週は減少に転じた。今年は今のところ2007年に次ぐ大きな流行となっており、夏季を迎えて今後しばらくの動向には、特に注意が必要である。

年齢別では、1歳（67人）、2歳（42人）、3歳と4歳（それぞれ32人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所（10.00）、鹿児島市保健所（7.23）、加世田保健所と出水保健所（それぞれ6.33）が多い。始良保健所（2.71）は6週連続、鹿児島市保健所は5週連続、川薩保健所（6.25）は4週連続、指宿保健所は3週連続、鹿屋保健所（3.60）は2週連続で、また、今週から加世田保健所と出水保健所が流行発生警報の基準値以上である。

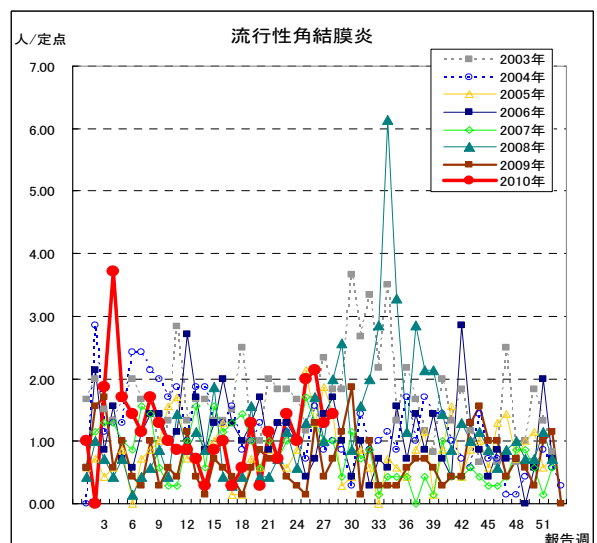


(3) 流行性角結膜炎

第28週の流行性角結膜炎の報告数は10人で、前週より1人多く、定点当たりの報告数は1.43であった。ここに至るまで増減を繰り返しながら増加傾向が認められる。

年齢別では、4歳、20～29歳、50～59歳（それぞれ2人）が多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（2.00）、川薩保健所（1.00）、始良保健所（1.00）からの報告であった。



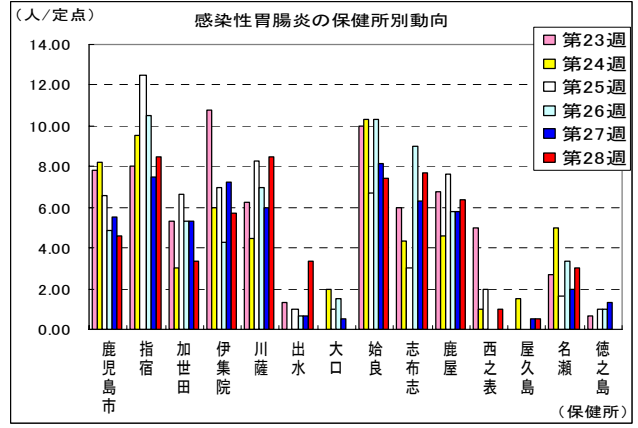
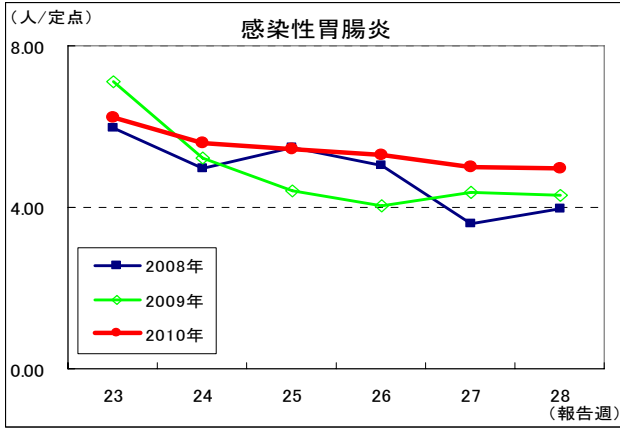
☆鹿児島県感染症発生動向調査企画委員会の提言における県内の小児細菌性髄膜炎の把握状況

患者報告数（第28週）：2例（2例とも1歳未満）

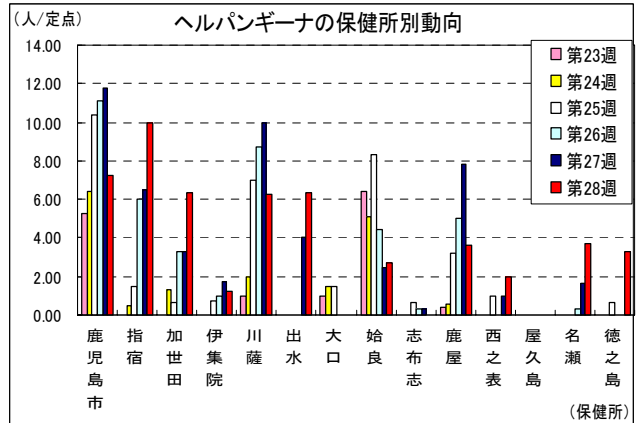
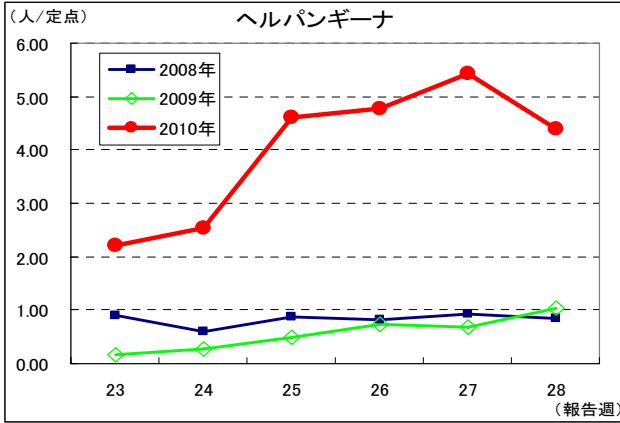
《2010年累計患者報告数 4例》 【鹿児島県小児科医MLによる】

☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

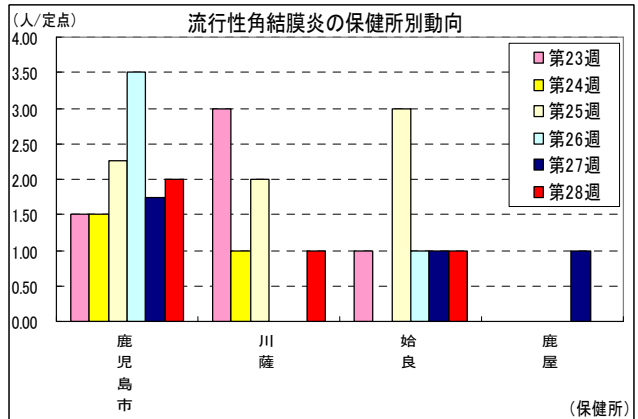
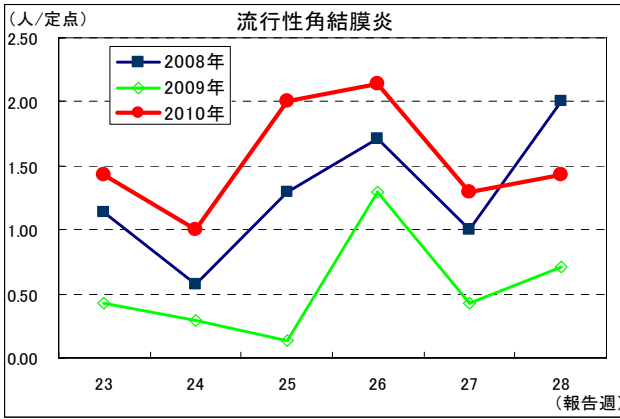
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) ヘルパンギーナ (流行発生警報は開始基準値 6.0 以上)

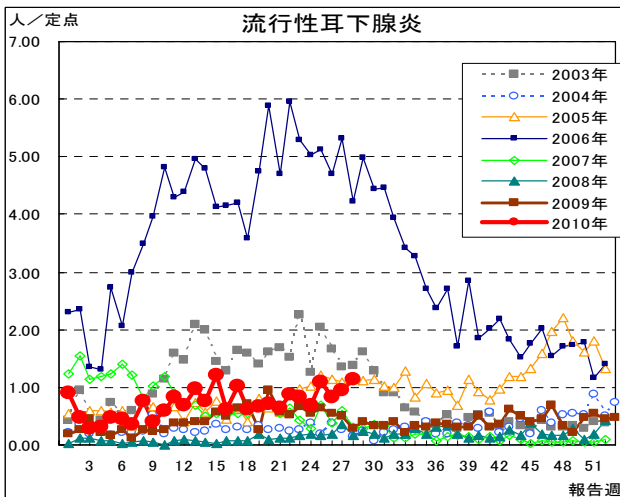


(3) 流行性角結膜炎 (流行発生警報は開始基準値 8.0 以上)

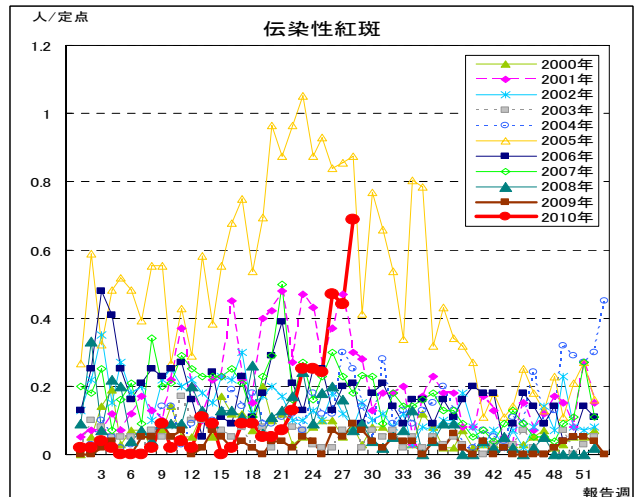


☆注目される感染症の発生状況

★流行性耳下腺炎の発生状況 (鹿児島県)



★伝染性紅斑の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報 告 週)	第 28週
-------	---------	-------

定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	1	0.01	6,157
小児科定点	○ RSウイルス感染症	10	0.18	973
	咽頭結膜熱	20	0.36	628
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	0.85	1,875
	感染性胃腸炎	272	4.95	16,467
	水痘	60	1.09	4,384
	手足口病	56	1.02	2,551
	○ 伝染性紅斑	38	0.69	183
	突発性発しん	25	0.45	790
	○ 百日咳	1	0.02	27
	ヘルパンギーナ	242	4.40	1,563
	○ 流行性耳下腺炎	63	1.15	1,112
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00	2
	○ 流行性角結膜炎	10	1.43	231
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	1
	無菌性髄膜炎	-	0.00	2
	マイコプラズマ肺炎	-	0.00	41
	クラミジア肺炎	-	0.00	2
報 告 数 合 計		845		36,989

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2010年23週)	4週前 (2010年24週)	3週前 (2010年25週)	2週前 (2010年26週)	1週前 (2010年27週)	今週 (2010年28週)
インフルエンザ	報告数	9	15	5	8	10	1
	定点当り	0.10	0.16	0.05	0.09	0.11	0.01
RSウイルス感染症	報告数	6	10	6	7	9	10
	定点当り	0.11	0.18	0.11	0.13	0.16	0.18
咽頭結膜熱	報告数	31	16	24	19	22	20
	定点当り	0.56	0.29	0.44	0.35	0.40	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	84	74	56	45	35	47
	定点当り	1.53	1.35	1.02	0.82	0.64	0.85
感染性胃腸炎	報告数	343	308	300	291	275	272
	定点当り	6.24	5.60	5.45	5.29	5.00	4.95
水痘	報告数	146	105	122	88	82	60
	定点当り	2.65	1.91	2.22	1.60	1.49	1.09
手足口病	報告数	124	88	91	87	99	56
	定点当り	2.25	1.60	1.65	1.58	1.80	1.02
伝染性紅斑	報告数	14	14	13	26	24	38
	定点当り	0.25	0.25	0.24	0.47	0.44	0.69
突発性発しん	報告数	34	29	38	28	33	25
	定点当り	0.62	0.53	0.69	0.51	0.60	0.45
百日咳	報告数	1	3	-	-	-	1
	定点当り	0.02	0.05	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	報告数	122	139	253	263	298	242
	定点当り	2.22	2.53	4.60	4.78	5.42	4.40
流行性耳下腺炎	報告数	45	38	60	45	53	63
	定点当り	0.82	0.69	1.09	0.82	0.96	1.15
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	-	0.14	-
流行性角結膜炎	報告数	10	7	14	15	9	10
	定点当り	1.43	1.00	2.00	2.14	1.29	1.43
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	-	1	2	-	-
	定点当り	0.08	-	0.08	0.17	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年28週(平成22年7月12日～平成22年7月18日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1	0.01	10	0.18	20	0.36	47	0.85	272	4.95	60	1.09	56	1.02	38	0.69	25	0.45
鹿児島市	-	-	7	0.54	6	0.46	26	2.00	60	4.62	22	1.69	29	2.23	10	0.77	7	0.54
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	17	8.50	1	0.50	-	-	9	4.50	3	1.50
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	10	3.33	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33
伊集院	-	-	1	0.25	-	-	2	0.50	23	5.75	7	1.75	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	5	1.25	10	2.50	34	8.50	6	1.50	9	2.25	-	-	4	1.00
出水	-	-	-	-	1	0.33	3	1.00	10	3.33	1	0.33	6	2.00	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	2	0.29	3	0.43	1	0.14	52	7.43	11	1.57	1	0.14	18	2.57	5	0.71
志布志	-	-	-	-	-	-	1	0.33	23	7.67	1	0.33	2	0.67	1	0.33	2	0.67
鹿屋	-	-	-	-	4	0.80	3	0.60	32	6.40	6	1.20	5	1.00	-	-	2	0.40
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	4	4.00	2	2.00	-	-	1	1.00
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	1	0.33	-	-	9	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1	0.02	242	4.40	63	1.15	0	0.00	10	1.43	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	-	-	94	7.23	49	3.77	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	20	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	19	6.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	1	0.25	5	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	25	6.25	4	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
出水	-	-	19	6.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	19	2.71	4	0.57	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	18	3.60	4	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西之表	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	1	0.50
名瀬	-	-	11	3.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	10	3.33	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年28週(07月12日～07月18日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症	報告数	10	2	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.18	0.04	0.11	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	20	-	3	6	4	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.36	-	0.05	0.11	0.07	0.07	0.04	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	-	-	3	5	4	8	6	4	3	7	3	3	-	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.85	-	-	0.05	0.09	0.07	0.15	0.11	0.07	0.05	0.13	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告数	272	5	19	42	25	22	28	19	10	10	8	14	39	10	21	-	-	-	-	-
	定点当り	4.95	0.09	0.35	0.76	0.45	0.40	0.51	0.35	0.18	0.18	0.15	0.25	0.71	0.18	0.38	-	-	-	-	-
水痘	報告数	60	-	4	7	17	9	12	6	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	1.09	-	0.07	0.13	0.31	0.16	0.22	0.11	0.02	0.04	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告数	56	1	3	6	13	8	10	9	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	1.02	0.02	0.05	0.11	0.24	0.15	0.18	0.16	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告数	38	-	1	1	4	3	9	8	6	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.69	-	0.02	0.02	0.07	0.05	0.16	0.15	0.11	0.04	0.04	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告数	25	-	18	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.45	-	0.33	0.09	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告数	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	242	2	22	67	42	32	32	20	10	5	3	4	3	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	4.40	0.04	0.40	1.22	0.76	0.58	0.58	0.36	0.18	0.09	0.05	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数	63	-	-	-	6	13	16	9	7	6	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当り	1.15	-	-	-	0.11	0.24	0.29	0.16	0.13	0.11	0.04	0.04	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	10	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	1	1	-
	定点当り	1.43	0.14	-	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	0.29	-	0.14	0.29	0.14	0.14	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-